

日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

TEL : 03-3519-5181 FAX : 03-3597-5171 メール : jaera-homepage@elv.or.jp

URL : http://www.elv.or.jp/

共同出荷事業、10月分の集荷完了

今年度(10月分+2月分)は前年度の回収重量を上回る見込み

「平成27年度貴金属類の共同出荷事業」は、集荷時期を年度内2回とし、今年10月と来年2月に分けて集荷を行います。このたび、10月分の集荷が完了し、以下のとおりデータがまとめられました。

参加数をみると、たとえば、近畿ブロックはゼロとなっておりますが、巡回集荷を行っているアサヒプリテックによると、10月の出荷は見送って2月にまとめて出荷するという事業所も多いとのこと。

回収重量をみると、センサー類については、10月分だけで昨年度の回収重量をすでに上回っており、他の品目についても2月分と合わせれば昨年度の回収重量を上回る見込みです。

▼平成27年10月分

ブロック	参加数 (社)	回収重量 (kg)				合計
		基板 (アルミ無)	基板 (アルミ有)	AB カプラー	センサー 類	
北海道	30	3,192.0	242.0	360.5	1,035.0	4,829.5
東北	23	865.0	360.5	202.0	1,175.5	2,603.0
関東	23	1,709.5	94.5	228.5	665.5	2,698.0
中部北陸	9	729.0	35.0	91.0	458.0	1,313.0
近畿	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国四国	24	1,046.5	126.5	184.5	1,121.0	2,478.5
九州	25	694.5	43.0	107.0	446.0	1,290.5
総計	134	8,236.5	901.5	1,173.5	4,901.0	15,212.5

▼参考：平成26年度 回収実績

ブロック	参加数 (社)	回収重量 (kg)				合計
		基板 (アルミ無)	基板 (アルミ有)	AB カプラー	センサー 類	
北海道	33	3,361.0	576.0	453.0	715.0	5,105.0
東北	33	1,135.0	208.0	176.0	205.0	1,724.0
関東	49	3,825.0	721.0	621.0	1,270.0	6,437.0
中部北陸	20	475.0	80.0	63.0	272.0	890.0
近畿	16	385.0	41.0	101.0	649.0	1,176.0
中国四国	33	2,688.0	236.0	155.0	639.0	3,718.0
九州	43	888.0	65.0	153.0	333.0	1,439.0
総計	227	12,757.0	1,927.0	1,722.0	4,083.0	20,489.0

目次

巻頭言	1
トピックス	
共同出荷事業	1
未来政策部会	2
工場見学会	3
理事会	4
ブロック長会議	4
青森県講習会	4
鉄スクラップ最新情報	5
行事予定・お知らせ	6
編集後記	6

巻頭言

先日、知人に勧められて「下町ロケット」の1～5話をまとめてネットでみました。200人規模の会社が、大口の取引先を失い、あと半年・1年しか資金繰りが続かない状況の中で、大手企業と渡り合い、自分たちの夢をかなえていくお話です。勿論ドラマなので、我々経営者が見たら不自然に感じる脚色もあります。彼らが苦難を乗り越えられたのは、「今まで培ってきた技術力」「仕事に対するプライド」だけでなく、「会社の理念・ビジョンがあること」「経営者と同じような目線に立って会社のことを考えられる社員の存在」があったからではないかと思いました。

(広報部会 小宮山 敬仁)

未来政策部会、経産省保坂室長による講演会を開催

11月19日、未来政策部会は「第2回未来政策部会」と「未来政策部会講演会」(講師:経済産業省自動車課自動車リサイクル室長 保坂明様)を開催しました。この開催報告と合わせて、未来政策部会の役割について清水部会長からのメッセージを掲載させていただきます。

「未来政策部会の役割」

未来政策部会 部会長 清水 道悦

自動車リサイクル業界環境は必ずしも楽観視できない中、未来政策部会は、ELV機構組織の活性化を促すうえで、価値あるものにしなければという想いでおります。活動計画に「①ELV機構組織活性化、②若手ネットワーク交流、③業界や経営課題への取り組み」が謳われているように、「自動車リサイクル業若手経営者の拠り所」というのが未来政策部会の重要な役割であります。

多くの若手組織の活動が停滞傾向にあります。未来政策部会としての役割・使命を盟友自身が認識しにくい状況にあることから、若手を中心とした部会として今一度自らの組織のあり方を検証する必要性を捉えております。特に問題としては、現状の組織を維持することではなく、「10年後に未来政策部会が若い経営者を育成する場になっているか」という視点が重要であろうと思います。

今後の活動のあり方を想定した場合、活動の重点を明確にする必要があり、その際、「自らの経営改善やELV機構組織への理解向上に繋がるとともに、これからの業界の課題について意見集約ができる組織」という観点が重要です。組織結集力を高める為にも、全国の若手経営者が組織を挙げて取り組むような新たな方向性を示唆していきたいと考えております。

最後に、現在はELV機構本部での開催しかできておりませんが、各地域での開催も検討し、各地での若手経営者の集まる「場」となれるよう、部会員同士で知恵を絞りながら活動してまいります。

未来政策部会講演会・開催報告



11月19日、「第2回未来政策部会」開催後、15時30分～17時に「未来政策部会講演会」が開催されました。経済産業省自動車課より保坂明自動車リサイクル室長をお招きし、「自動車リサイクルの現状と今後について」というテーマでご講演いただきました。

当日は、事前に傍聴申し込みをされた会員の方々7名の他、未来政策部会メンバーや役員を含め、総勢20名ほどが受講しました。講演内容としては、「自動車リサイクル法の施行状況」「自動車リサイクル制度の評価・検討結果について」「今後の対応(検討会の開催)」の順番で、審議会でもとめられた報告書に関する今後の具体的な取り組みについてご説明いただきました。

《講演会資料公開のお知らせ》

本講演会の資料をELV機構ホームページ会員専用ページに掲載しました。保坂室長に許可を得てELV機構会員向けに公開しています。会員の皆様は以下のURLよりぜひご確認ください。

<http://www.elv.or.jp/?itemid=749> ※ 閲覧には会員専用のユーザー名・パスワードの入力が必要です。

第2回理事会、開催



11月24日、ELV機構会議室（東京都港区）にて、「第2回理事会」が開催されました。理事定数19名のうち出席14名で理事会成立とし、監事2名も出席しました。また、当日は、議事後、経済産業省自動車課より保坂明自動車リサイクル室長をお招きして、意見交換会を実施しました。

議事は報告→審議の順で行われ、報告事項として本部事業報告や収支報告、審議事項として審議会でとりまとめられた報告書に関する今後の取り組み検討や次年度役員選考などがありました。

第3回ブロック長会議、開催



11月25日、ELV機構会議室（東京都港区）にて、「第3回ブロック長会議」が開催され、全国8ブロックの長が一堂に会しました。

当日は、経済産業省自動車課との意見交換の後、各ブロック報告にて、ブロック同士の情報共有を図りました。また、佐々木理事より、インストラクターの意義を見つめ直す必要性について提案があり、まず現状把握から始めていくこととなりました。

青森県組合、平成27年度適正処理地域講習会を開催

青森県自動車リサイクル協同組合より、株式会社青南商事の江原祐孝様にご寄稿いただきました



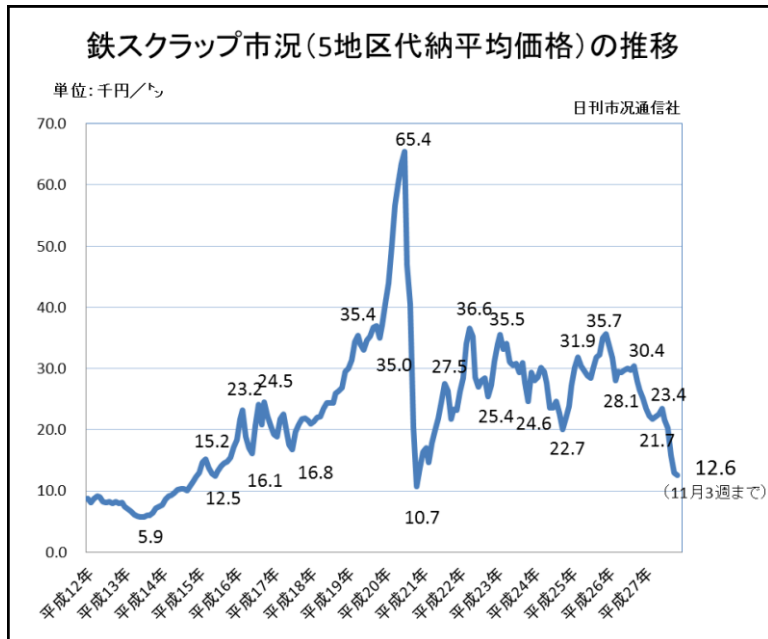
2015年10月13日、青森県自動車リサイクル協同組合は、モータースカレッジ東北（青森県八戸市）にて、「平成27年度適正処理地域講習会」を開催いたしました。この講習会には、当組合会員の従業員の方々を中心に15名が参加いたしました。

今回は、自動車再資源化協力機構の藤嘉一様にお越しいただき、フロンの適正処理、エアバッグの適正処理について、“安全”と“確実”をポイントにご講義いただきました。また、参考として、当組合のエアバッグ引き渡しの未合致発生割合、フロンボンベの耐圧検査期限切れ発生割合の発表があり、参加者の関心を集めていました。続いて、当組合の富谷英夫氏（富谷オートパーツ）、恩田直樹氏（株式会社エコブリッジ）による実車を使用した適正処理の実技がありました。エアバッグの適正処理では、一括展開装置の使用を実演し、参加者からは、「エアバッグの個数が分かるうえに、作業時間の短縮にも繋がるので、早速購入したい」という声もありました。

第2部の懇親会では、参加者が活発に意見交換を行う場面もあり、その中で「来年はエアバッグ引き渡しの未合致品発生割合、フロンボンベの耐圧検査期限切れの発生を抑え、当組合が全国ランキングの上位になろう」といった前向きな意見が出ていました。

■ 11月第4週(24日)の鉄スクラップ動向 ■

[提供/日刊市況通信社]



11月24日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	14,000 ~ 15,000	様子見横ばい
	南関東	14,000 ~ 15,000	様子見横ばい
名古屋		14,000 ~ 14,500	慎重様子見
関西	大阪	14,500 ~ 15,500	慎重様子見
	姫路	14,500 ~ 15,500	慎重様子見

国内市場 下げ一服感も地域により温度差

台湾や東南アジア向けの日本玉輸出価格やトルコの輸入価格など海外のスクラップ市場が上伸したことなどから、日本国内市場に下げ一服感が出始めている。しかしその一方で、電炉筋の減産体制が継続していることなどから、地域によって足元の相場認識や先行きの見通しに温度差もあるのが現状だ。

東日本では、東北地区で一部電炉が引き合いを強める動きを見せ、関東では船送り数量が増加したことで浜値が上げ戻す動きとなっている。また、関東鉄源協同組合の11日の鉄スクラップ共同輸出入札が1トあたり14,652円と前月比で277円の値上がりを見せた。為替円安の影響などで台湾や東南アジア向けの輸出価格が韓国向けよりも高値へ上伸したことも、東日本市場で「下落基調もここまで」との見方が広がる要因となった。

ただ、国内電炉の減産が続き、高炉筋も一部が市中玉購入を増やすが、全体としては前年実績を下回る低水準だ。「まだまだ強気材料に欠ける」(市中業者筋)との見方も多く、中部以西では弱気感を残す。また、シッパー筋などによると「トルコの積極的な手当ては一時的」といった見方や「韓国ミルは在庫潤沢で輸入約残も多く、新規手当てに消極的だ」との情報もあり、全国的にも先行き不透明感が残ったままの状態だ。

【関東地区】電炉買値・浜値とも様子見横ばい

関東地区の鉄スクラップ市況は、電炉買値、浜値とも様子見横ばいの推移となっている。関東市場の様子見商状は、約3週間にわたって続いている。一部値下げが見られたが、契約納入筋の値下げの時期が途中にあっただけで、11月初旬からは概ね横ばいだ。H2炉前実勢価格は14,000~5,000円中心。H2浜値は、1トあたり14,000円中心。不足している一部の湾岸ヤード筋で高値集荷が出ているとされ、引き続き堅調な推移を見せる見通しだ。

【東海地区】市況底値感ムード広がり一部に慎重な見解も

名古屋地区の鉄スクラップ市況は、需給双方とも様子見対応の恰好から横ばいで3連休明けのとなった。電炉メーカーは、東京製鉄の静観もありH2炉前実勢価格は14,000~14,500円中心で、ここ20日間近く様子見商状が続く。電炉筋のスクラップ在庫は多いと見られているが、業者ヤードのスクラップ在庫は全般に少ないことを理由に電炉筋の一部には慎重な見方もあり、今週の荷動きが注目される。

【関西地区】需要減退加速で先行き不透明感強まる

大阪地区の鉄スクラップ市況は模様眺めが続いている。電炉筋では全般的に安定した入荷と高い在庫水準を抱えたまま3連休入りを迎えた上、24日から大阪製鉄堺工場が工事に伴う長期の荷止めに突入。これと同時に連休終了で他も需要減退が進むことは必至で、先行き警戒はより強まる方向にある。H2炉前実勢価格は14,500~5,500円、新断バラ炉前実勢価格は15,500~6,800円。姫路地区のH2炉前実勢価格は14,500~5,500円。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、11月24日午後時点のもの)

行事予定

12月の主な予定

12月1日(火)

◇ 関東ブロック会議

12月3日(木)

◇ 日本自動車工業会 池会長
表敬訪問

◇ ELV機構年末懇親会

12月4日(金)

◇ 第5回 リサイクル技術部会

12月8日(火)

◇ JIS開発事業
関連打ち合わせ

12月9日(水)

◇ JIS開発事業
第4回 原案作成WG

12月15日(火)

◇ 第4回 三役会
◇ 第9回 広報部会

12月17日(金)

◇ 自動車リサイクル士
新制度移行特別認定
講習会(東京会場)




お知らせ

■ 会員数(2015年11月時点)

総数 597社 / 会員 569社、賛助会員 28社

■ 事務局新メンバーのご紹介

11月12日付で新たな事務局員が入社しました。



【ご挨拶】

若さと知性はありませんが、体力と経験でがんばりますので、何卒宜しくお願い致します。

かねこ やすし
金子 靖史 (47歳)

■ 自動車リサイクル士合格実績(2015年11月時点)

資格の種類	平成25年度	平成26年度
自動車リサイクル実務士初級 (引取・フロン類回収工程)	4名	37名
自動車リサイクル実務士上級 (引取・フロン類回収・解体・破碎工程)	15名	59名
自動車リサイクル管理士	626名	194名

編集後記

年末を前になにかと気がかりなのは、鉄素材の暴落をはじめとするリサイクル業界の低迷ではないでしょうか。明るい兆しがなかなか見えてきません。きっとここは我慢のしどころなのでしょう。▼せめて何か元気のでる話題はないかと探してみたところ、一冊の書籍に巡り会いました。渡辺和子さんの著書「置かれた場所で咲きなさい」は、少々疲弊気味の心を癒やしてくれます。渡辺和子さんは現在ノートルダム清心学園理事長をされており、つい先日テレビでも渡辺和子さんの波乱に満ちた人生を紹介しておりました。読みやすい文章でお勧めの一冊です。▼市況や景気が思わしくないと我々はつつい心も態度も荒みがちになります。こんな時節だからこそ、業界の存在意義、使命といった大義を思い返すことも大事かもしれません。存在意義が明確であれば希望の光もきっと見えてくるはず。心胆を寒からしめる思いに、つついしかめっ面のひとつもこしらえたくところですが、暗い顔はいけません。皆が貴殿を見ています。渡辺和子さんも言うておられます。「不機嫌は立派な環境破壊」と。

(広報部会 部会長 永田 則男)